

令和6年度
会館だより
 第2号

歓迎会・法人役員紹介
 岩手県学生会館
 令和6年6月5日発行

大歓迎会開催

4月20日(土)に岩手県学生会館歓迎会が開催されました。今年度は岩手県学生援護会の役員や岩手日報東京支社からも来賓をお迎えし、コロナ禍前と同じように、本来の形で開催することができました。砂金業務執行理事からの挨拶では、在京岩手学生会との関わりについても触れていただき、参加した寮生にはその存在を知るいい機会になったと思います。参加者全員の自己紹介や自治会役員の企画したビンゴ大会も行われ、大変和やかな雰囲気歓迎会となりました。



自治会役員の音頭で乾杯!



自治会長からの歓迎のあいさつ!

会食を通しながらたくさん笑顔も見られました。



砂金業務執行理事よりご挨拶をいただきました。





5年ぶりに役員の方々にも出席いただきました。



歓迎会の準備・運営に携わった自治会役員の皆様、ありがとうございました。



参加者全員で記念撮影

令和6年度
公益財団法人岩手県学生援護会役員

- ◎代表理事
松橋 公治
(明治大学名誉教授)
- 副代表理事
永田 浩一
(全国通運代表取締役社長)
- 業務執行理事
砂金 良明
(元東京放送総務部長)
- 理事
小野寺麻利子
(作家 藤沢摩彌子)
石森 寛
(画家)
中塚 真
(岩手県学生会館館長)
- 評議員
菅原 智広 (岩手日報社取締役執行役員
東京支社長)
関村 淳哉 (岩手銀行常務執行役員東京
営業部長)
柴田彩千子
(東京学芸大学准教授)
及川 良一
(全国高等学校長協会顧問)

村井 雄一 (中央コンピューターシステム
代表取締役社長)

桜庭 昌吾
(野田はまなす会顧問)

中村 泰之
(ジェイアールバス関東取締役会長)

○監事

千葉 健夫
(社会保険労務士)

高橋 孝政
(岩手県東京事務所長)

○相談役

山本 正徳 (岩手県市長会)
青木 幸保 (岩手県町村会)
千葉 幸也 (岩手県総務部長)
佐藤 一男 (岩手県教育長)

○顧問

志賀かう子 (エッセイスト)

学生会館職員

○館 長 中塚 真
○書 記 樺澤理恵子

主たる委託業者

- ・建物包括管理
二幸産業株式会社
- ・給食業務
株式会社グリーンハウス
- ・日常清掃
株式会社ワールドクリーンアップ

卒寮生からひと言

寮生活を終え、この4月から社会人として巣立った方々がいます。同じ屋根の下で暮らした仲間です。新入寮生を始め後輩諸君への思いを込めてメッセージを残してくれました。これからの東京での生活の参考にしてください。

岡市 理功

「自由奔放に過ごした学生生活」

初めて親元を離れたこの寮で、初めての東京で自由を謳歌した学生生活。アルバイトをして好き

なものを選んで買い、趣味を謳歌し、学びにも全力を尽くしました。この4年間の日々全てが貴重な経験となりました。しかし、この楽しい時間も終わりを告げ、4月からは新たな挑戦が待っています。社会人として、これまでの経験を活かしながら、更なる飛躍を目指して頑張ります。

学生生活の大切な支えの一つとなってくれた学生会館に深く感謝します。

豊泉 花

春から新しい日々が始まることになり、上京する前日と似たような不安や寂しさを覚えています。せわしなく過ぎてしまった4年間でしたが、掛け替えのない日々であったと今になって気づかれます。上京したての頃、暫くは他人の家にいるような落ち着かない気持ちでしたが、今ではこの部屋がすっかり心安らぐ場所です。館長さん、樺澤さん、清掃の方々、その他寮の運営に携わって下さる皆さんがいてくださったからです。4年間、本当にお世話になりました。岩手県学生会館の皆様の益々のご活躍を、陰ながらお祈りしております。

皆川 瑛士

岩手県学生会館には、4年間お世話になりました。私が大学に入学した2020年は、コロナ禍の只中にあり不安を感じながらの入寮となりました。はじめは新生活への戸惑いもありましたが、良い友人に恵まれ大学生活を豊かなものとするのが出来ました。一人暮らしをしている人は、食事をするのが億劫になるとよく聞きますが、岩手県学生会館では朝晩1日2回、バランスの取れた食事をとることができるため、健康に生活を送ることが出来ました。

会館の運営に携わっている全ての方々、本当にありがとうございました。

千田 隆真

入寮した時は、新型コロナウイルス蔓延による影響で同級生もいない、大学にも行けない。孤独を感じる寂しい時間でした。

暗く長いトンネルを歩いているような感覚でいっぱいだった日々は、二年になると徐々に明るくなっていき、東京での生活は楽しくなりました。家族のように時間を共にできた良き友人に巡り合えたことは、私の大学人生最大の幸福です。お腹いっぱいの幸せな時間を過ごせました。

寮の各種関係者の皆様、私と関わった仲間たちへ目一杯の感謝を。

金野 夏紀

「4年間」

4年間、「オンラインと対面」という大学生活の中でフランス語を専門的に学ぶ日々でした。私にとって、フランス語を学ぶ意義とは何か悩む日もありましたが、今となってはこの道を選んで良かったと思います。お互いを高め合える大切な友人とも出会えました。素敵な教授たちにも大変お世話になりました。小中高に比べ、あっという間に過ぎ去る4年間でありましたが、大学における全ての出会いに感謝しています。

学生会館での生活では、ちらほらと同級生が退寮してしまい、寂しい思いをしました。後輩の皆さんには、寮生活を楽しんで、仲間との時間を大切にしていってほしいと思っています。

春からは、念願の場所での勤務が決まりました。新天地でも、毎日一生懸命に生きたいと思えます。

4年間(3年間)ありがとうございました。
皆様、お元気で。

佐藤 結実

「感謝」

コロナの影響で大学2年生から3年間、学生会館でお世話になりました。うっかり鍵を忘れた時は助けてくれる友達がいたり、いつも明るく声をかけてくださる館長さんや樺澤さんがいらっしやったり、沢山の方々のおかげで楽しく快適な毎日を過ごすことができました。

本当にありがとうございました。社会人もがんばります。

会館からの連絡

〇ミニキッチンについて

ミニキッチンの利用について改めて連絡します。ミニキッチンは基本的に寮生の皆さんの自主管理です。調理台や電子レンジの周囲、電子レンジの中の皿やIHコンロなど使用した後汚れたままになっています。置いてある布巾でキレイに拭いた後、布巾もきちんと洗ってください。電気ポットのお湯も補充されていないことが多いです。

全員が意識して衛生的に利用してもらいたいものです。

〇ゴミの分別について

各居室のゴミを倉庫のゴミ保管所に捨てる際、分別せずにまとめて捨てている人がいます。捨てる際は指示されている場所にそれぞれ分別して捨ててください。一つ一つ点検して改めて分別するのは大変な作業です。ペットボトルはラベルやキャップを外し、中身を捨てすすいであらしてから出してください。ご協力ください。

〇ランドリーの使用について

ランドリーについてマナーやルールを守らない使い方が見られます。

洗濯が終了した後もしばらく洗濯物を放置している人がいます。次の人が使えない状態です。洗濯機の中で生乾きになり、異臭の原因にもなります。また、後ろの棚にそのまま放置されていることも散見されます。時間が経過したものについては処分させていただきますので注意してください。一人ひとりが当然すべき心がけを持って皆で快適に洗濯室を使用しましょう。

令和6年6月5日発行

編集並びに発行元 公益財団法人岩手県学生援護会
岩手県学生会館
同 学生自治会

住所 東京都豊島区要町二丁目5番5号

TEL 03(3972)4783

FAX 03(6676)4471